

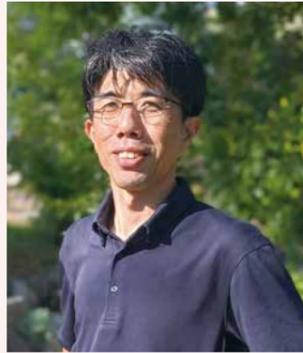
速報

JSHI関東エリア部会

リポート再始動!

清水 隆行 新エリア部会長 直撃インタビュー

令和5年度総会で待望の再始動が案内された関東エリア部会。新たにエリア部会長に任命された清水隆行さんに、エリア部会再始動への想いを語っていただきました。



関東エリア部会長
清水隆行氏

関東エリア部会とは

しばらく休止状態だった関東エリア部会ですが、晴れて再始動がアナウンスされました。新たな体制はどのようなものになるのでしょうか?

ありがとうございます。まだ組織としての形はできていませんが、以前の関東エリア部会に関わっていた方などにも協力をお願いしつつ体制を整えているところです。やはり一人で運営しても何も良くなれないと思うので、関わる人たちを増やしていくことが大切だと思っています。なんというか、手作り感みたいのがないと人ってどんどん離れていっちゃうと思うんですよ。

なるほど、参加意識みたいなものですね。

はい。先日の東京でのイベント*の時も「一緒に手伝ってくれませんか?」って来場者の方々にお声掛けさせて頂いたりしていました。

ちなみに関東エリア部会の「エリア」ってどうなっているのでしょうか?

一応関東圏だと思うのですがあまり意識していません。

形式的には東京都と神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県という事ですが、そこに限るという事ではないと思います。皆さん協会の理念に共感して集まって下さっている方が多いと思いますので、それ以外にはあまり縛りが無い方がいいですね。

それでなくても最大の人数を抱えているわけですよね。

はい、だからこそ、こだわるなら理念の部分かなと思います。

まあ、大きな団体ですからいろんな人もいますが...

そうですね。いろんなことを言いたい人がいるのだと思うので、それはそれで言っていいたいと思うんですけど、それがきっかけで次もっと良くなる可能性もあるし、そうならないかもしれませんし。

まずは受け止めるというところから始められるのですね。

再始動のきっかけ

今回、こうして再始動が具体化するきっかけみたいなものはあったんですか?

昨年の中半位かな?名古屋の加藤さん(中部エリア部会長)が関東で初心者向けの研修を開催してくれたんです。

その時に、今回関東エリア部会を手伝ってくれている久世さんもいらっちゃって、終了後3人で居酒屋に行きました。加藤さんと具体的に話をするのは初めてだったのですが、その時に関東エリア部会のお話を聞き、そこから何かパタパタと話が進んでいったという感じです。

新エリア部会長としての抱負とインスペクション業界の未来について

先ほど協会の理念にこだわっていらっしゃいましたが、この関東エリア部会、どのような集まりにしようと思われていますか?

そうですね。私がお金をやるというよりは、みんなが自発的に動けるようなところがなんとなくイメージの中にはあります。結局知識の押し付けではうまくいかないと思うんです。研修などで「こんなことやるからこういう知識が付きますよ」というのも大切ですが、もっとみんなが盛り上がる仕組み、自発的に盛り上がってくれるようなきっかけを見えないところで作っていただければいいかなと思っています。

人知れず押し上げるイメージでしょうか?

はい。それで少しずつ関東エリア部会という組織を形にして行けたらいいですね。

あと、今まで交流が少なかった分、やっぱりリアルに会うというのも大切だと思います。交流の部分では、すぐに行動に移せる人ばかりではないでしょうし、とにかくハードルを下げるのが大切かなと思うんです。

参加しやすい雰囲気ですね。そういえば会員の皆さんには様々な知識をお持ちの方が多くですよね。

はい。その知識をどういう風にみんなに共有してもらおうとか、引き出していかとか、それができると協会としても強い力になるような気がします。今はまだそれがバラバラな状態で、それでは少しもったいないという雰囲気は感じていますから。

あと、それこそ協会の会員は建築士だけじゃないですから。不動産やその他の業界の人たちがいる事の意義が整ってくるんじゃないかな。建築士ではないホームインスペクターが増えるともっと良くなっていくと思います。

いわゆるいろいろな方々が入ってるからこそ出てくる強みとか、その組織に多様性があるからこそ共有できる幅が広がるメリットみたいな感じでしょうか。

そうです。私も今、建築士事務所としてやっていますが、この業界ってガチガチな気がしています。建築のみにこだわってしまう。住宅 = 建築というイメージ。その壁を壊したいという気持ちはあります。

まあいろいろな規制や規制がある仕事ですしね。

そこを建築だけでなく、「家に関わることに対する何か」っていうことがホームインスペクションでもいんじゃないかなと思っています。建築士っていう人が

インスペクターを名乗るのもいいけど、本当に家に詳しい主婦っていう人がホームインスペクターを名乗ってもいいので。その人それぞれのインスペクターとしての役割や提供できる価値があると思うんです。それを全部ひっくるめて力にできたらいいかなって感じします。

関東だとやはりホームインスペクターの数も足りていないですよね。

もう全然足りないと思いますね。

やっぱりマスが増えてくれば、そういった相談のハードルも下がってくるというか敷居が下がる。

そうですね。それと、まずホームインスペクションという仕事があるということを知っていかないといけないと思うのですが、そのためにはそこにホームインスペクターがいなくてダメだと思っています。私自身もまずは47都道府県に相談窓口置いて一人配置するくらいの状況にしたいと思っています。そうすれば相談のハードルも低くなるのではないかと。

なるほど。やはり「ハードルを下げる」がキーワードですね。これからはどんどん若手にも頑張ってもらいたいとか。

うーん、年齢は関係ないというか、逆にある時代に建築に関わっていたからこそわかることもあるので、幅広い年代の方がいることの方が大切ですね。もちろん、若い人が集まってくるというイメージは大切ですが、バランスが重要かと思っています。いろいろな年代毎の家、その時あった出来事等についてその知見を教えていただく例会というのは心に温めています。今ならそれもできます。

先日、関東エリア部会でキックオフというか、トークセッションイベントがありましたよね。開催してみえたか?

とてもアットホームな雰囲気でした。あと、長嶋理事長のお話もホームインスペクションに対する情熱が伝わってきて、自分も初心に帰る想いになりました。

最後になりますが、会員の皆様一言お願いいたします。

関東エリア部会は会員の皆様にもお客様にも、とにかくハードルを下げて、そして参加される皆さんが主役になれる場していきます。「私、ホームインスペクターなんです」と言える仲間を増やすためにも、皆さん一緒に盛り上がっていきましょう。